80 鏡野万葉のみちシンボル広場

岡山県鏡野町香々美121-1

鏡野町は、岡山県の北部、津山盆地の西北部に位置し、町の最北部に標高600メートルの越畑高原、中央部に香々美川、西部に吉井川が流れ、四季おりおりの自然に親しむことのできる街である。〔文化・観光〕越畑高原、シャクナゲまつり、紅葉まつり、鏡野八景

鏡野町の町内をとおる県道加茂寺元線沿線には、植生上非常に良好な環境が残っている。とくに、万葉集に登場する一五〇余種の植物のうち、実に一〇四種の植物をこの区間で目にすることができる。また、天然記念物、史跡などが二一か所にもおよぶ。このような環境をいかして町では万葉のみちづくりに着手することとした。

事業内容としては万葉花壇八か所、シンボル広場一か所、あずまや一棟を整備した。とくにシンボル広場は、地域住民で組織している「万葉のみちを育てる会」が管理、環境美化にも努めているとともに、春、秋の二回にわたり青空市をひらいて、地域内のふれあいの場として活用している。

万葉の植物に囲まれたシンボル広場は、地域の人々をはじめ、道行く人々も気軽に足をとめてくつろげる場所となっている。